



日邦産業株式会社

(証券コード : 9913)

2021年3月期 第2四半期 決算補足資料

- 事業整理損599百万円を計上。今期をもって、業績の不安定要因を解消
- 第2四半期は営業・経常赤字となるも、通期は営業・経常黒字に転換

2020年 11月6日

代表取締役社長

岩佐 恭知

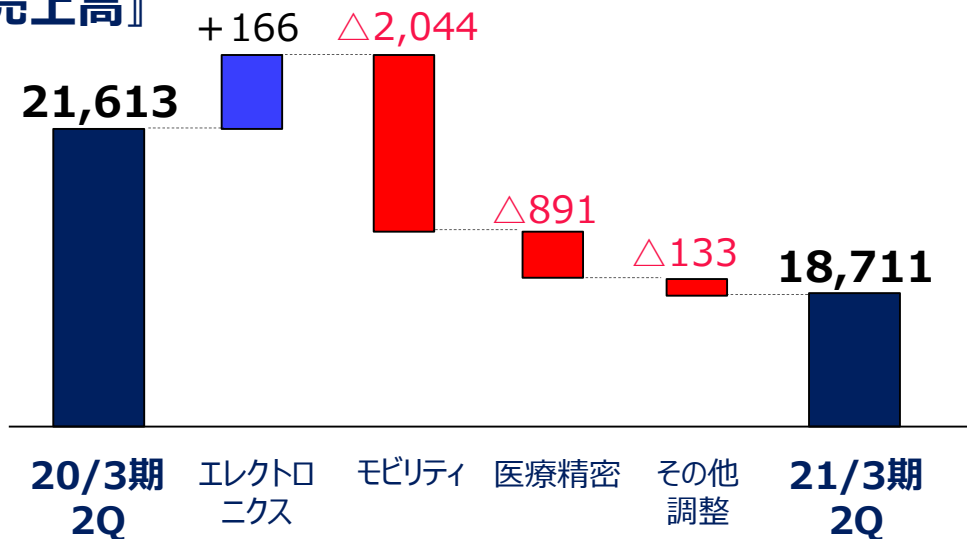
21/3期 2Q 連結業績 (1)



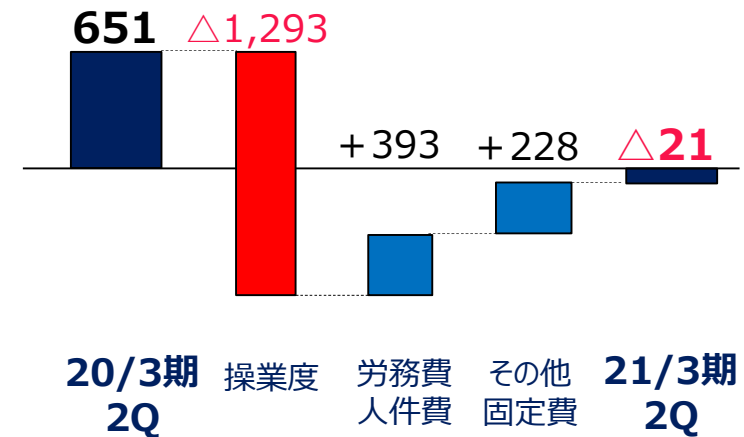
(単位：百万円)

科目	20/3期 2Q	21/3期 2Q	前年同期比	増減額
売上高	21,613	18,711	87%	△2,902
営業利益	651	△21	—	△672
経常利益	554	△163	—	△717
四半期純利益	504	△901	—	△1,405

〔売上高〕



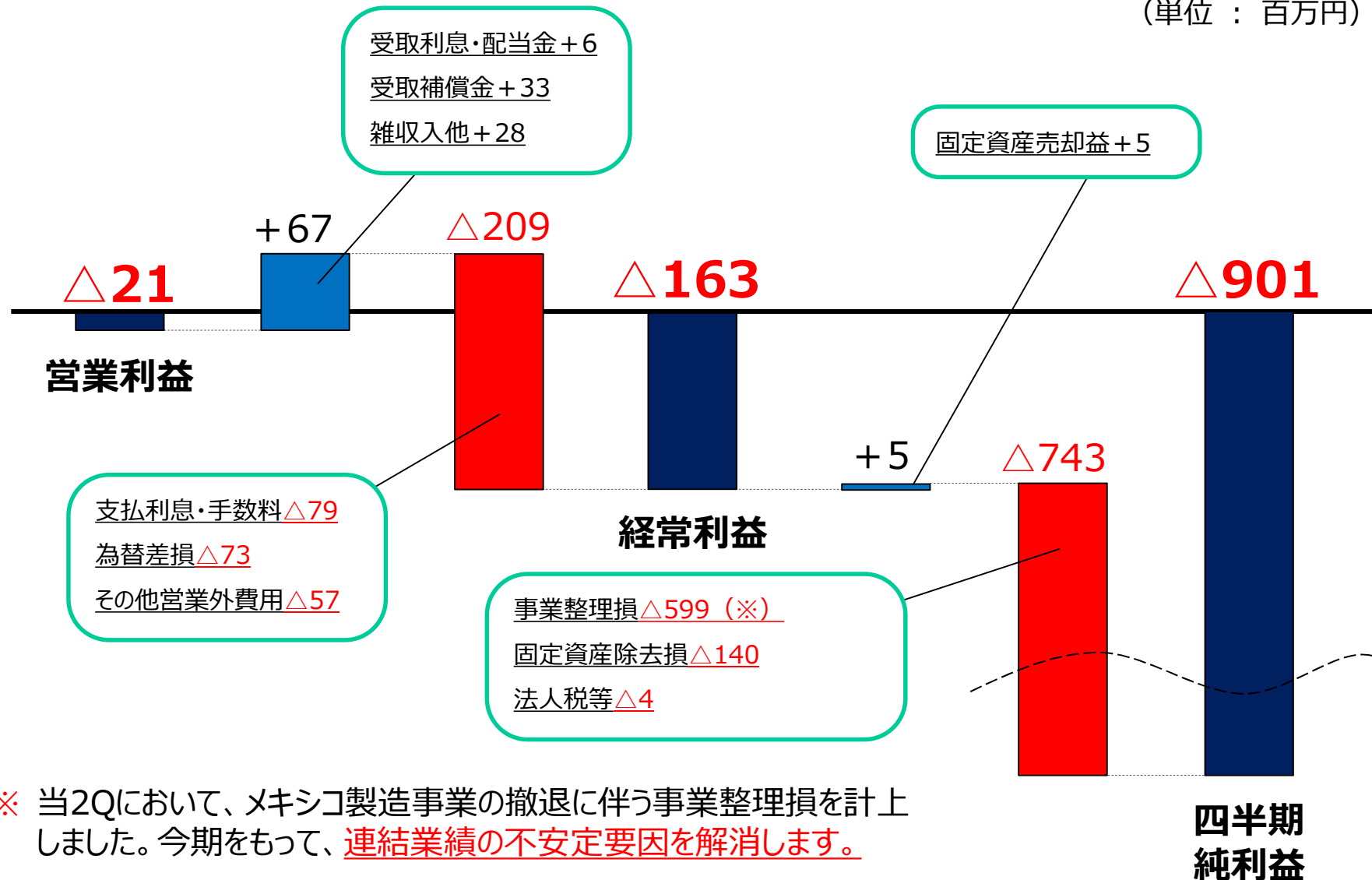
〔営業利益〕



21/3期 2Q 連結業績 (2)



(単位：百万円)



21/3期 通期業績予想



～通期業績は、営業・経常黒字への転換を見込みます～

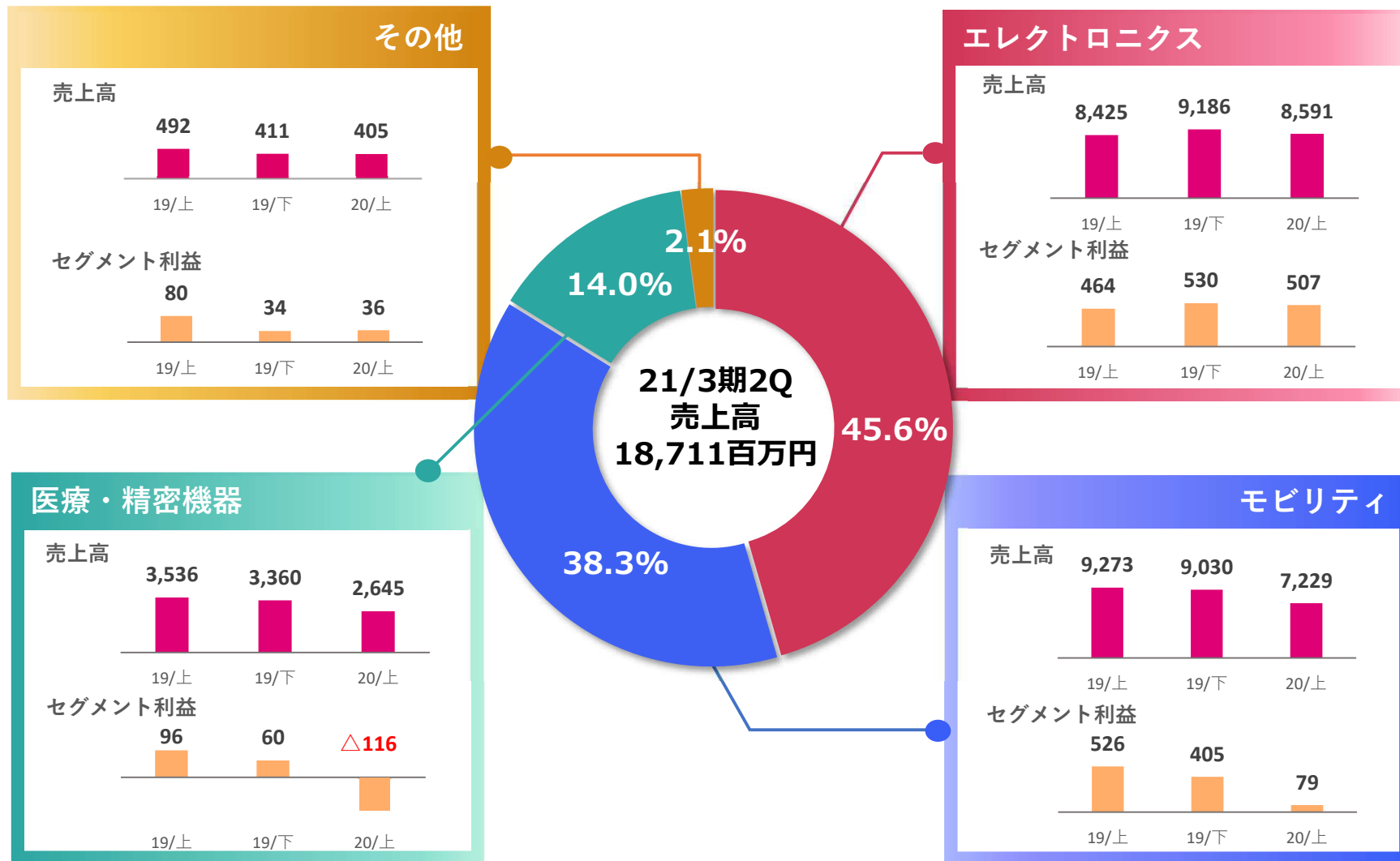
(単位：百万円)

科目	21/3期 2Q	21/3期 通期予想	21/3期 進捗率	通期業績予想と年間配当金について
売上高	18,711	39,000	48.0%	<p>1. 通期業績予想 これまで「未定」としておりました通期業績予想につきましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品メーカーの生産計画（フォーキャスト）の精度が高まったこと ・サプライチェーンの変化が軽微であったこと <p>より、「実効性のある定量目標」を設定しました。</p> <p>2. 年間配当予想 あわせて「未定」としておりました配当金につきましても、通期業績予想値を勘案したうえで、「1株＝5円」といたしました。</p> <p>※本通期業績予想値は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による事業環境の変化を織り込んでおりません。</p>
営業利益	△21	450	—	
経常利益	△163	320	—	
当期純利益	△901	△ 500	—	
年間配当金	—	5円		

21/3期 2Q セグメント別業績



(単位：百万円)



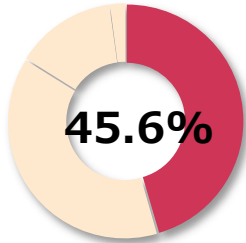
(注) 各セグメント売上高は、セグメント間の連結調整前の金額となります。

セグメント別業績（エレクトロニクス）



売上高構成比

(単位：百万円)



増収
増益

	20/3期 2Q	21/3期 2Q	前年同期比	増減額
売上高	8,425	8,591	102%	+166
営業利益	464	507	109%	+43

(注) 売上高はセグメント間の連結調整前の金額となります。

2Q業績概況

- ・ 車載用途の電子部材と給湯器関連の住設部材は、コロナ影響により受注が減少したが、スマートフォン関連部材は堅調に推移し、前年並みの受注。配線板材料は、ハイエンド向けが好調に推移し、受注が増加。
- ・ 液状ポリイミドの代理店契約により、新規顧客を獲得し、受注が増加。
- ・ ベトナム工場のドライフィルム事業は、旺盛な需要が継続しており、受注が増加。

通期の見通し

- ・ 汎用配線板材料と家庭用燃料電池の関連部材の需要が減少するものの、「5G」通信関連部材、ハイエンド向け配線板材料とベトナム工場のドライフィルム事業の受注が増加し、営業利益が増加。

【売上高】



下期：上期比92%

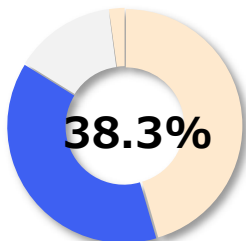
	20/3期	21/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	17,611	16,500	94%	△1,111
営業利益	994	1,000	101%	+6

セグメント別業績（モビリティ）



売上高構成比

（単位：百万円）



減収
減益

	20/3期 2Q	21/3期 2Q	前年同期比	増減額
売上高	9,273	7,229	78%	△2,044
営業利益	526	79	15%	△447

（注）売上高はセグメント間の連結調整前の金額となります。

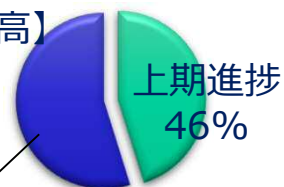
2Q業績概況

- ・ コロナ影響による自動車部品メーカーの減産影響を受け、国内外工場ともに車載部品の受注が減少。
- ・ 特に海外2Q（4-6月）における顧客の減産影響が大きく、アセアン全工場が赤字に。
- ・ メキシコ製造事業の撤退は、計画通りに年度内をもって完了。

通期の見通し

- ・ 国内は昨年度並みの状況まで受注が回復する一方、海外は顧客の減産影響が見込まれる。

【売上高】



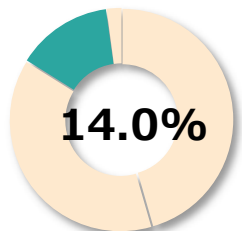
	20/3期	21/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	18,303	16,000	87%	△2,303
営業利益	931	400	43%	△531

セグメント別業績（医療・精密）



売上高構成比

（単位：百万円）



減収
減益

	20/3期 2Q	21/3期 2Q	前年同期比	増減額
売上高	3,536	2,645	75%	△891
営業利益	96	△116	—	△212

（注）売上高はセグメント間の連結調整前の金額となります。

2Q業績概況

- 医療機器のディスプレイ関連部品は、堅調に推移。
- コロナ影響によるプリンターメーカーの減産影響を受け、プリンター関連部品の受注が減少。
- タイ（コラート）工場におけるカメラ用レンズ事業の契約満了による減収。

通期の見通し

- 医療機器の堅調な推移とプリンター関連部品の増加が見込まれるものの、上期のマイナスをカバーしきれず、赤字着地の見通し。

【売上高】



下期：上期比127%

	20/3期	21/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	6,896	6,000	87%	△896
営業利益	156	△50	—	△206



参考資料

21/3期 2Q 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目	20/3期	21/3期 2Q	増減額
流動資産	14,609	12,926	△1,683
現預金	4,332	3,381	△951
受取手形及び 売掛金	7,421	6,402	△1,019
たな卸資産	2,309	2,555	+246
その他	547	588	+41
固定資産	12,910	11,733	△1,177
有形固定資産	10,236	9,078	△1,158
無形固定資産	115	120	+5
投資その他の 資産	2,558	2,535	△23
資産合計	27,519	24,660	△2,859

科目	20/3期	21/3期 2Q	増減額
流動負債	11,996	11,043	△953
支払手形及び 買掛金	7,178	6,084	△1,094
短期借入金等	2,407	2,858	+451
その他	2,411	2,101	△310
固定負債	5,710	5,143	△567
長期借入金	2,217	1,864	△353
その他	3,493	3,279	△214
負債合計	17,706	16,187	△1,519
資本金	3,137	3,137	-
資本剰余金、利益剰 余金及び自己株式	5,666	4,673	△993
その他の包括利益 累計額	1,008	662	△346
非支配株主持分	1	1	△0
純資産合計	9,813	8,473	△1,340
負債・純資産合計	27,519	24,660	△2,859

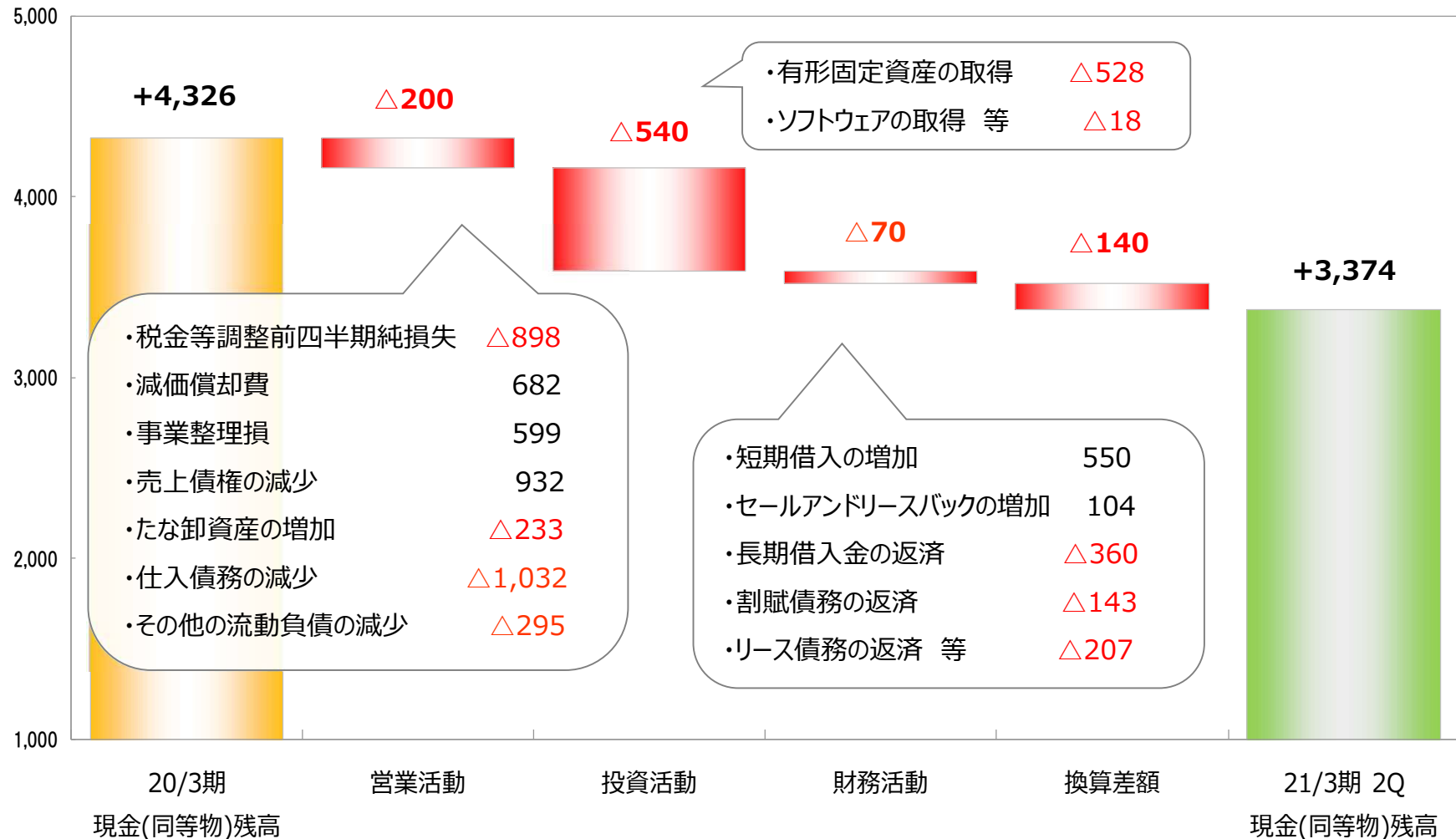
21/3期 2Q 連結キャッシュ・フロー計算書



増加要因

減少要因

(単位：百万円)



日邦産業株式会社
経営企画部 水口、小清水

電話 : 052-218-3161
E-Mail : ir@nip.co.jp
HPアドレス : <https://www.nip.co.jp/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

なお、本業績見通しにおける為替レートは、1米ドル = 110円、1タイバーツ = 3.5円で計算しています。